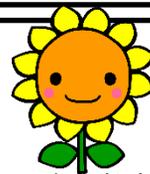


放射線科だより



令和6年7月12日
診療放射線科 徳田 一泰

【放射線を利用する検査:PET-CT検査について】

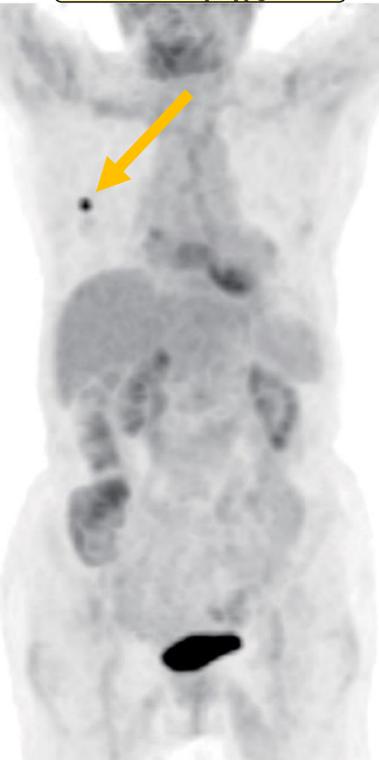
・PET-CT検査とは？

PET検査とは、静脈からFDG（放射性フッ素を付加したブドウ糖）を注射し、細胞に取り込まれたブドウ糖の分布を画像にする検査です。

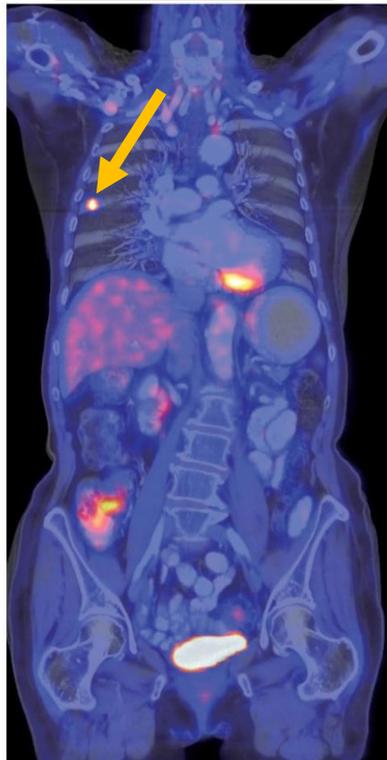
がん細胞は、通常の細胞より多くのブドウ糖を取り込む性質があるため、たくさんのブドウ糖が集まるところには、がんがある可能性が高いと考えられます。PET-CT検査は、PET検査とCT検査の画像を重ね合わせることで、がんの有無、位置や広がりが高い精度で診断することができる検査です。

肺がんの症例

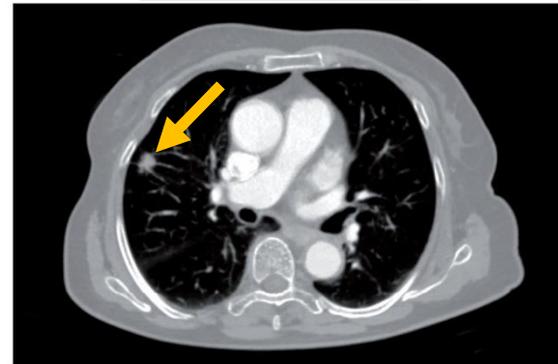
PET画像



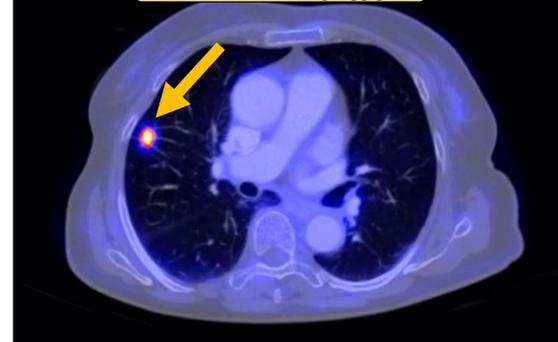
PET-CT画像



CT画像



PET-CT画像



病院でCTやMRIなどの画像検査を受け、腫瘍のような物が発見されたが、病期・転移・再発の診断が確定できないためPET-CT検査を行う際には保険が適用されます。

また、1回の検査で全身のがんを検索できるため、がん検診にも利用されています。検診の際には保険は適用されず自費での検査になります。